AII-10

**タイトル（例）**職制のストレス対処行動その調査結果報告

**○お名前**

**ご所属**

**ここから抄録本文作成のこと。**

**B5・1枚・MS明朝10.5ポイント**

**（以下に例を示す）**

【目的】～することを目的とした。

【対象と方法】２つの事業所にて、エゴグラム（以下：CB-E）を施行した２つの事業所にて、エゴグラム（以下：CB-E）を施行した。２つの事業所にて、エゴグラム（以下：CB-E）を施行した

２つの事業所にて、エゴグラム（以下：CB-E）を施行した。

【結果】職制のCB-Eの平均得点はｆ・CP４．８点、ｆ・NP６．１点、ｆ・A１１．５点、ｆ・FC４．３点、ｆ・AC４．１点で、Aの自我機能が最も高かった。

最も高かった自我機能で分類した従業員の頻度はｆ・Aで９６．７％であった。２番目に高かった自我状態で分類した従業員の頻度はｆ・NPで３４．６％であり、ついでｆ・CPが１９．２％ｆ・ACが２３．１％、ｆ・FCが１９．２％、ｆ・A３．８％であった。メンタルヘルス不調者のSECLの平均得点は４７．５±１３．６点であった。

【考察】今後は他の心理検査を用いて多角的に職制のストレス対処や不調者の復職支援について検討していきたい。今後は他の心理検査を用いて多角的に職トレス対処や不調者の復職支援について検討していきたい。今後は他の心理検査を用いて多角的に職制のストレス対処や不調者の復職支援について検討していきたい。今後は他の心理検査を用いて多角的に職制のストレス対処や不調者の復職支援について検討していきたい。今後は他の心理検査を用いて多角的に職制のストレス対処や不調者の復職支援について検討していきたい。今後は他の心理検査を用いて多角的に職制のストレス対処や不調者の復職支援について検討していきたい。今後は他の心理検査を用いて多角的に職制のストレス対処や不調者の復職支援について検討していきたい。今後は他の心理検査を用いて多角的に職制のストレス対処や不調者の復職支援について検討していきたい。